

玉島ライオンズクラブ30周年記念演奏会

曾我厚子
と
倉敷管弦楽団



1985年9月16日(月)PM2:00

玉島文化センター

主催/玉島ライオンズクラブ

後援/倉敷市教育委員会・岡山女子短期大学・玉島文化協会・玉島ロータリークラブ

倉敷西ライオンズクラブ・(社)玉島青年会議所・山陽新聞社

ごあいさつ

玉島ライオンズクラブは、1956年岡山ライオンズクラブのスポンサーにより全国21番目に誕生した奉仕団体であります。

爾来地域の皆様の御協力により本年創立30周年を迎える事に成りました。厚く御礼を申し上げます。



さて、記念事業の一環として、演奏会を開催する運びとなりました。郷土玉島は三百年來の歴史を持ち立派な文化都市として育って参りましたが、しかし、従来オーケストラ等を含む音楽会は会場の関係で開催不可能な状態であり、音楽愛好者はさぞかし御不満だった事と思われます。しかしながら此の度、立派な会場が完成し、待望の演奏会を催す事になりました。本日の演奏者、曾我厚子、菊池東御両氏は郷土玉島が生んだ新進音楽家であり、将来を囑望されている方々であり、今後大いに成長される事を郷土の皆様と共に期待致しております。そしてこれを機に今後玉島の文化が音楽を通じていささかなりとも向上し、一方青少年の健全育成にかすかな愛の灯を照らす事が出来得る事を願ってやみません。郷土の皆様の今後一層の御協力をお願い致します。

玉島ライオンズクラブ会長 野田 敏夫

水谷公ブロンズ像建立について

今から400年前、此の玉島地方は瀬戸内海に浮かぶ小さな島々の一つでした。1600年代前半備中の国松山城（岡山県高梁市）城主水谷勝隆公が此の玉島地方の領主でありました。彼は此の点在する小さな島々を結び海を埋め立てて、現在の玉島地方の国造りを始めました。港も造り商人も連れて来ました。1600年代後半に岡山城主池田光政公が水谷公の跡を続けて埋め立てを拡げ玉島と云う町が発展して参りました。此の玉島地区の生みの親とも言える水谷公の偉業を讃え、多くの人々に「玉島と水谷公」を知って頂こうと30周年記念事業として、水谷公ブロンズ像を此の玉島文化センターに建立致します。今年中には完成する予定です。

記念事業委員長 小幡 友吉



プログラム



歌劇「フィガロの結婚」序曲 K492 ……………モーツァルト

ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11……………ショパン

第1楽章 アレグロ・マエストーゾ

第2楽章 ロマンツェ・ラルゲット

第3楽章 ロンド・ヴィヴァーチェ

ピアノ独奏 曾我厚子

———休憩———

バレエ音楽「白鳥の湖」作品20 ハイライツ……………チャイコフスキー

1) 序奏(モデラート・アッサイ)

第1幕 No.1:情景(アレグロ・ジュスト)

2) 第1幕 No.2:ワルツ

3) 第2幕 No.10:情景(モデラート)

4) 第2幕 No.13:白鳥たちの踊り(アレグロ・モデラート)

5) 第3幕 No.21:スペインの踊り

6) 第3幕 No.27:小さい白鳥の踊り(モデラート)

7) 第4幕 No.29:情景・終曲(アンダンテ・アレグロ・アジタート)

菊池 東 指揮

倉敷管弦楽団





曲 目 ・ 解 説



モーツァルト 歌劇「フィガロの結婚」序曲 K492

殿様がこともあろうにフィガロの婚約者スザンナに横恋慕してしまった。さて、殿様がやみ夜に逢引きして口説いた女性は実はスザンナではなくて、何とスザンナと衣裳を取替えた奥方だったので、殿様はびっくり仰天 — という喜歌劇。才気あふれるフィガロを思わせる明るく軽快な序曲です。なお一昨年秋にはこのオペラ全曲が二期会中国支部と倉敷管弦楽団によって公演されました。

ショパン ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11

ピアノの詩人ショパンが20才のときに作曲した協奏曲です。出版の順序が作曲と逆になってしまったために、2番目に作曲されたこの曲が協奏曲第一番ということになってしまいました。この曲はショパンが故国ポーランドを去る直前に作曲されたもので、ショパンは親友にあてた手紙に、「楽しい数々の追憶を起させる場所を眺めるような印象、たとえば美しい春の月明の夜のような」と書いていますが、この曲にはノクターン（夜想曲）風の美しく甘い旋律がいたるところに現われて来ます。最も美しい旋律に満ちたピアノ協奏曲といえるでしょう。

この曲の初演は、ショパン自身の独奏で行なわれましたが、この音楽会では同時に、ショパンの初恋の人であるコンスタンツェ・グラドコフスカのソプラノ独唱もあり、白衣のドレスを着て頭にバラの花を挿していたグラドコフスカ嬢を意識して、非常に緊張していたといわれます。

今回のソリストは玉島出身の曾我厚子さんです。地元という事で曾我さんも緊張している事でしょうが、きっと良い演奏が聞ける事と思います。

チャイコフスキー バレエ音楽「白鳥の湖」作品20 ハイライツ

悪魔のために白鳥の姿にされたオデット姫は、もとの人間の姿に戻る夜に、湖畔へ狩りにきた王子とめぐり会い、互いに、愛しあうようになる。この王子ジークフリートは翌日の彼の成人の祝宴の席上、婚約姫を選ばねばならない。ふたりは宴での再会を誓って別れる。華やかにその席に現われたのは悪魔とその娘で、オデットに変装したオディールであった。王子は悪魔の企みにかかりオデットとの愛の誓いを破ってしまう。オデットと王子は死んで天国で結ばれようと湖に身を投げたが、愛の力で魔法は破れ悪魔は亡びる。

これはチャイコフスキーの作品中最も広く愛好され、またバレエの代名詞にまでなっている「白鳥の湖」のあら筋です。

この作品が今日傑作として高く評価されているのは、彼の音楽に内在する最高の魅力—旋律の美しさ、聴衆の心に優しく語る哀愁を含んだりリズム、甘く感傷に富んだ情緒、メルヘンの世界の主人公たちの適切な描写、幻想的で豪華絢爛たる物語の展開など、これらの諸要素があますところなく全編に盛り込まれているからです。

今日はその中から特に有名で魅力的な曲を7曲選んで演奏します。オーケストラの迫力を存分にお楽しみ下さい。

プロフィール



倉敷管弦楽団

“美しい音色と良いアンサンブルで質の高い演奏を”を合言葉に昭和49年設立の倉敷管弦楽団は、文化都市倉敷にふさわしい若さと熱気に満ちた楽団です。バロックから現代曲迄幅広い演奏活動で、岡山県を代表する楽団として、昭和57年には岡山県文化功労賞を受賞、昨年12月には創立10周年記念として、倉敷第九演奏会を開催し大成功を収めました。

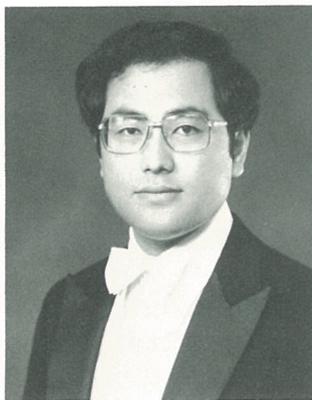
現在、団員数は80数名にのぼり、発足以来美しい弦の響きには定評があり、フルートの世界的巨匠ジャンピエール・ランパル氏との共演を初め、ヴァイオリンの和波孝禧氏、前橋汀子氏、豊田弓乃氏、ピアノの深沢亮子氏、チェロの安田謙一郎氏、山崎伸子氏、オーボエのディーテルム・ヨ

ーナス氏、又、地元岡山県内で活躍中の音楽家達との共演や、團伊玖磨氏作曲の「管弦楽のための高梁川」の初演、二期会中国支部とのモーツァルトのオペラ「魔笛」「フィガロの結婚」の全曲演奏、地元合唱団との共演等地方のオーケストラとしてはそれぞれ注目的となる多彩な演奏活動を続けています。

又、演奏会活動も倉敷を中心に岡山・高梁・福山と広範囲にわたり、これからの活躍が期待されています。

なお本年度は、この後11月14日福山市民会館、12月1日岡山市市民会館において、モーツァルト作曲オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」の演奏会を計画しています。

指揮
菊池 東
Toh Kikuchi



1948年玉島に生まれ、5才よりヴァイオリンを始める。在学中より広島交響楽団の団員としてオーケストラ活動を始めると同時に、広島大学室内合奏団の指揮者としてクラブ活動を続ける。卒業後、東京都民交響楽団のサブコンサートマスター、モーツァルト室内管弦楽団のコンサートマスターを経て1973年帰岡。翌年仲間と共に倉敷室内管弦楽団を設立。以来同楽団の常任指揮者として活躍。1979年より4年間広島大学室内合奏団の指揮者として後輩の指導にあたる。

現在、倉敷音楽協会理事、倉敷市自主文化事業協会理事、倉敷文化連盟理事、岡山音楽家協会員、(社)玉島青年会議所副理事長。

ピアノ
曾我厚子
Atsuko Soga



玉島に生まれる。5才より浅原茂子氏のもとでピアノを習い始め、小学5年生より氏平貴子・片岡みどりの両氏に師事し、山陽学生音楽コンクール中学校の部で第一位入賞、相愛高等学校音楽科、相愛大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻を首席で卒業、在学中、井口基成、松浦豊明の両氏に師事、なにわ芸術祭「新進音楽家競演会」に出演、グリフス作曲「アクア・パオラの泉」「白孔雀」を演奏、NHKのオーディションに合格、岡山県新人演奏会に出演、現在岡山女子短期大学講師。

倉敷管弦楽団

団 長：田 辺 幹 夫 常 任 指 揮 者：菊 池 東
 運 営 委 員 長：陶 山 容 良 副 指 揮 者：吉 市 幹 雄
 運 営 副 委 員 長：坂 口 充 倫 コンサートマスター：守 屋 美 枝 子
 運 営 委 員：友 野 良 一 〃：佐 藤 真 理 子
 〃：石 渡 日 出 男 顧 問：小 山 裕 章
 〃：光 延 勢 吾 〃：枡 本 辰 郎

1stヴァイオリン

○佐 藤 真 理 子
 中 桐 佐 知 子
 岡 崎 良 弘
 大 江 恭 子
 岩 瀬 裕 子
 陶 山 容 良
 高 橋 久 子
 園 田 哲 郎
 越 宗 宣 子
 出 宮 治 子
 ※小 林 紀 子
 ※武 村 寿 子
 ※田 辺 玲 子
 ×守 屋 美 枝 子
 ×稲 田 真 理

2ndヴァイオリン

木 村 啓 子
 赤 沢 和 美
 山 名 良
 河 村 真 知 子
 勝 部 万 里 子
 浅 井 直 樹
 吉 田 精 一
 熊 沢 智 子
 平 尾 尚 子
 人 見 陽 子

ヴィオラ

○黒 住 彰 夫

友 野 良 一
 武 本 克 己
 中 野 隆 重
 勝 部 喜 代 志
 内 田 けい子
 奥 山 千 鶴 子
 西 山 治 美
 ※中 川 行 敏

チェロ

○西 田 毅 雄
 田 辺 幹 夫
 光 延 勢 吾
 黒 田 正 典
 宇 野 義 雄
 松 江 雄 二
 井 上 良 子
 石 渡 日 出 雄
 田 中 光 子
 藤 原 千 恵 子
 明 石 拓 爾

コントラバス

松 本 高 広
 本 屋 敷 勝 信
 曾 我 部 仁 和
 難 波 由 宏
 安 田 友 子
 松 本 圭 子

ピッコロ

橋 爪 直 美

フルート

○坂 口 充 倫
 片 山 知 子

オーボエ

○角 田 容 子
 秋 山 慶 子
 安 田 元 子

クラリネット

○川 名 光 治
 守 屋 玲 子
 甲 斐 暁 美
 川 名 あ き

ファゴット

⊗稲 田 裕 彦
 川 崎 哲 哉
 新 山 王 政 和

ホルン

⊗吉 市 幹 雄
 文 谷 功
 板 谷 信 昭
 ※鈴 木 敦
 ※池 内 俊 介
 ×西 崎 大 修

トランペット

○森 田 裕 三
 石 原 憲
 岡 本 卓 也
 中 桐 実

トロンボーン

○佐 藤 道 郎
 谷 口 一 夫
 ※平 松 保 利

チューバ

※山 口 雅 弘

打楽器

○平 松 泰 一
 陶 山 京 子
 ※田 中 美 年
 ※谷 本 江 里
 ※成 田 晶 子

ハープ

※矢 木 裕 子

○印 パートリーダー

×印 今回不参加

※印 客演